大洗町議会だより



花火Ｔシャツ着用にて大洗海上花火大会の機運向上



詳しくはこちら

議会広報編集委員会　関根委員長
議会だより本紙の見どころを紹介！

目次

９月議会定例会・臨時会 …… 2
総務常任委員会質疑報告 …… 4
町政を問う　５人登壇 …… 8

No.220
2026.10.28

９月議会定例会

９月議会定例会は、９月１日から10日の10日間の会期で開催し、議案等については原案のとおり可決しました。

賛否表はこちら➡

議案番号等	議　案　名
議案第46号	大洗町手数料条例の一部を改正する条例の専決処分につき承認を求めることについて
議案第47号	令和7年度大洗町一般会計歳入歳出決算
議案第48号	令和7年度大洗町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
議案第49号	令和7年度大洗町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
議案第50号	令和7年度大洗町介護保険特別会計歳入歳出決算
議案第51号	令和7年度大洗町地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算
議案第52号	令和7年度大洗町営公園墓地事業特別会計歳入歳出決算
議案第53号	令和7年度東茨城郡内町村及び一部事務組合公平委員会特別会計歳入歳出決算
議案第54号	令和7年度大洗町水道事業会計歳入歳出決算
議案第55号	令和7年度大洗町下水道事業会計歳入歳出決算
議案第56号	大洗町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第57号	大洗町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部を改正する条例
議案第58号	大洗町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第59号	令和8年度大洗町一般会計補正予算（第2号）
議案第60号	令和8年度大洗町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案第61号	令和8年度大洗町介護保険特別会計補正予算（第1号）
議案第62号	令和8年度大洗町水道事業会計補正予算（第1号）
議案第63号	令和8年度大洗町下水道事業会計補正予算（第1号）
同意第1号	大洗町教育委員会委員の任命について
同意第2号	東茨城郡内町村及び一部事務組合公平委員会委員の選任について
請願第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願
発委第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書

人事案件

▷大洗町教育委員会委員の任命について

氏名　伊藤　雅彦
住所　大洗町和銅
任期　令和８年10月１日～令和12年９月30日

▷東茨城郡内町村及び一部事務組合公平委員会委員の選任について

氏名　渡邊　政美
住所　ひたちなか市津田
任期　令和８年10月１日～令和12年９月30日

報　告

▷令和7年度大洗町財政健全化判断比率について
▷令和7年度大洗町公営企業会計資金不足比率について
▷大洗ターミナル株式会社の令和7年度事業報告並びに令和8年度事業計画について

企業版ふるさと納税に係る寄附

寄 附 者　愛知県名古屋市
　　フタバ株式会社
　　代表取締役社長　市川　宗一郎
寄 附 金　一金１００，０００円
寄附目的　第３期海の街大洗創生推進プロジェクトの一助として

請　願

件　名	請願者	審査委員会	結果
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	茨城県教職員組合 井坂　功一	総務常任委員会	採択

発　委

国へ意見書を提出

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書

詳細はこちら

政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する実態調査を実施

６月議会定例会にて「東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情」を採択しました。議会は、町に対して実態調査を依頼し、実態調査結果が議会に提出されました。実態調査結果を踏まえ議長より該当議員へ「政党機関紙の庁舎内配布は行わないように」と申し入れを行い、当該議員はそれを承諾しております。

9月議会臨時会

9月議会臨時会は、９月30日に開催し、議案等については原案のとおり可決しました。

賛否表はこちら➡

議案番号等	議　案　名
議案第64号	町有地（大貫台地区）売買契約の締結について

総務常任委員会報告



総務常任委員　◎は委員長　○は副委員長

◎小野瀬とき子　○関根　健輔　飯田　英樹　石山　淳　菊地　昇悦　坂本　純治
勝村　勝一　今村　和章　小沼　正男　柴田佑美子　伊藤　豊　櫻井　重明

9/2~7

主な質疑内容

まちづくり推進課

問 ふるさと納税額が前年度と比較して減少しているが、今後どのような取組を考えているのか。

答 令和７年度については、令和６年度の80％となりました。今後は、昨年度から導入している現地型ふるさと納税の拡充、ふるさと納税によるクラウドファンディング、ポータルサイトの拡充やサイト内の画像の改善などにも取り組んでいきたいと考えています。

問 空き家対策事業にて、固定資産税の納税通知書に案内を同封したとのことだが、その結果として解体12件、跡地利活用７件につながったのか。通知と申請の因果関係を把握しているか。

答 直接的につながったかは把握していませんが、窓口に来られた方のなかには、通知を持参した方もいたため、一定の効果はあったものと考えています。



固定資産税の納税通知書にいれた案内書

消防本部

問 救急業務状況で、救急車が年間1,000件近く出場しているが、２台、３台同時に出ている件数は。また、ドクターヘリの要請依頼が年間どのぐらいか。

答 令和7年は、２台目の救急車が出場している件数は168件、３台目の救急車が出場している件数は25件です。ドクターヘリに関しては、10件搬送をしています。

問 救急車が有料化になったと思うが、支払いを求めたケースはあるのか。

答 救急搬送における選定療養費徴収という制度です。救急隊が支払いを求めるものではなく、病床数が200床以上の病院に救急車で搬送された場合、その患者さんを診察した医師が「救急車で来る必要はなかった」「緊急性はない」という判断をしたときに病院が徴収します。実際、救急隊が搬送した方が、選定療養費を徴収されたかについて、病院から消防本部へ報告されることはありません。



救急車

商工観光課

問 現在、大洗観光おもてなし推進協議会と大洗観光協会が一緒にうみまちテラス内に入居しているが、事業上での重複も想定される中で両者の体制はどのようにしているか。

答 大洗観光おもてなし推進協議会はコンシェルジュ２名、アルバイト２名が担っており、観光案内やレンタサイクル、売店等の運営を行っています。大洗観光協会は町内の観光に関する事業全般を行っており、事業内容に違いがあります。



うみまちテラス

問 インバウンド需要は回復傾向であるが、大洗町での入込客数はどのような状況か。

答 日帰り観光客を含む外国人入込客数は、正確な数を把握することは難しいです。一方で、大洗観光協会が実施している宿泊旅行統計調査においては、令和７年実績で全体の宿泊者数が約27万人、うち外国人観光客が約5,000人程度と把握しています。

住民課

問 マイナポータルでのデジタル申請の状況とパスポートの発行期間は。

答 申請件数は、転入・転出99件、パスポート93件で、パスポートは土日祝日を除き10日で発行しています。

問 脳ドックの利用状況は。

答 毎年増減はありますが、令和７年度17名で令和８年度現在22名が申込みをされています。

議会事務局

問 令和７年度の傍聴者の集計について、議場に来た方とリアルタイム配信中の視聴者を集計に入れる考えはあるか。

答 定例会傍聴者数に記載の数字に関しては、現在議場に来られた方の数字となっています。リアルタイム配信中の視聴者数の集計も今後検討していきます。

生活環境課

問 夜間安全対策警備業務委託について、令和７年度の業務期間や日数は。

答 ４月から10月までの期間で、金曜日から日曜日まで及び祝日の夜間、合計103日間実施しました。令和７年度の実績を鑑み、令和８年度は当該事業を廃止しています。

問 災害時備蓄品整備事業について、令和７年度に期限切れの非常食は。また、今後の備蓄数量については。

答 期限切れとなる非常食は約3,000食あり、単純な廃棄は行っていません。それらは期限が切れる前に、防災の啓発活動として町内小中学校に配布しました。また、非常食の備蓄目標としましては、東日本大震災時の最大避難者数3,000人×３食×２日分で計18,000食と算出しています。国や県は３日分の備蓄を推奨していますが、財政負担や民間事業者等との応援協定を考慮し、３日目以降は外部支援を受けることを想定しています。



備蓄非常食

税務課

問 茨城租税債権管理機構への移管について。

答 令和７年度は８件移管しており、移管税額は2,140万円でその内の徴収額は約749万円となっています。

問 固定資産税の評価額は、３年前と比較して下落しているのか。

答 ３年に１度評価替えがあり、３年前と比較すると、平均で1.7%下落しています。

総務常任委員会報告

学校教育課

問 大洗独自で積み重ねてきた、学びの姿勢づくり事業の中学生大洗塾は、令和7年度どの程度の生徒が参加し、講師の先生は何人か。

答 令和7年度の参加人数は44名です。中学３年生全体の申し込み割合でいうと17.3%になっています。講師は7名でローテーションを組み、随時４名で進めています。７名の内訳は、中学校の非常勤講師が２名、それ以外が大学の教員養成課程で学んでいる方を中心に進めています。実施時期は夏休みの８月から開始し、１月の最終週までとなっています。

問 GIGAスクール整備事業について。どのような端末に切り替わったのか。

答 第2期のGIGAスクールの端末はChromebookを使用しています。それは2in１になっており、キーボードが切り離せるタイプになっています。理由としては、低学年はキーボードが打てないので、タブレットで直接的に操作できるため採用しています。



2 in 1Chromebook端末

都市建設課

問 地籍調査の結果が登記事項に修正され、固定資産税に反映されるまでの流れは。

答 地籍調査は１区画につき３年かけ調査を行い、１年目に境界立会と測量、２年目に結果の閲覧・確認を行い、３年目に県、国の認証を受けたのち、成果を法務局に送付し、登記簿の面積や地目等が修正され、その後、固定資産税のデータに反映されます。

問 駅前の駐車場の収支は。

答 収入183万５,000円となり、支出は管理として業務委託があり、収支59万2,000円の黒字です。

秘書広報課

問 情報ネットワーク推進事業について。

答 ネットワーク、システム保守を整備することにより、情報共有の効率化、ペーパーレス化に繋がると考えます。

問 プロモーション事業について。

答 リスティング広告を中心とし、検索連動型広告、ディスプレイ広告、バナー広告といった展開を行っています。

こども課

問 親子ふれあいセンター運営費は。

答 会計年度職員２名で運営しており、人件費、光熱水費、清掃委託料、AED設置等の使用料、建物保険関係で、717万4,823円です。

問 母子保健事業の歯科検診受診率は。

答 対象者が55名、受診者12名、受診率は21.8%です。

福祉課

問 配食サービス事業、買物支援対策事業について。

答 配食サービス事業決算額が121万7,000円で、月６回行っており一食あたり200円です。買物支援対策事業費決算額が245万1,000円で、月６回行いました。配食サービス登録者が13名、買物支援登録者が63名となっています。



買物支援対策事業の様子

健康増進課

問 高齢者の定期予防接種の利用実績は。

答 インフルエンザワクチン約3,000名、新型コロナウイルスワクチン約440名、肺炎球菌ワクチン約30名、帯状疱疹ワクチンでは生ワクチン（１回接種）約100名、不活化ワクチン（２回接種）約120名です。

農林水産課

問 地域おこし協力隊について。

答 現在の２名は主に夕日の郷松川の支援事業を行っており、直売所やキャンプ場の運営支援をはじめ、出店事業や体験イベント事業を担っています。加えて、任期満了後の定住に向けて、地産地消の推進やふるさとプロモーション事業への支援に参画し、町内水産加工事業者の訪問やふるさと納税の勉強会などに取り組んでいます。

問 水産業の後継者問題に対して、地域おこし協力隊を配置することを考えているか。

答 現在のところ、漁業協同組合から地域おこし協力隊の活用要望はありません。なお、漁業者の減少は課題になっているため、茨城沿海地区漁業協同組合連合会と茨城県が構成員となっている茨城県漁業就業支援協議会が実施している担い手対策事業の活用を促進しています。

問 那珂川沿岸農業水利事業について、国・県と大洗町支部における意見交換は。

答 大洗町は末端でなかなか着水しないことから、大貫地区の渇水状況も踏まえて、速やかに整備を進めてほしいという意見がありました。なお、現在の進捗状況ですが、国の事業は、令和９年度までに大洗町に関連する工事が完了します。その後、県営事業として、大場地区から大貫橋を通って大貫池に着水する計画ですが、今年度から測量業務を行っています。予定では、令和12年度から用水が利用できる計画となります。



那珂川沿岸農業水利事業（大貫地区への用水ルート）

上下水道課

問 下水道の布設状況について。

答 町の全体計画面積からみると40％に満たない状況ですが、最近、下水道法の改正があり、これまでの市街化区域であれば全体に下水道を整備するという考え方から、優先度をつけて整備していくという考え方に改めていくという方針が示されています。また、浄化槽にもメリットがありますので、公共下水道と総合的に組み合わせて整備していくことを考えていきます。

生涯学習課

問 北海道洋上体験でのALT派遣について。

答 ALT ８名を派遣しました。事前の研修では、英語によるレクリエーションを行い、子どもたちとの関係づくりを行いました。洋上体験中の本研修では、フェリー乗船後、英語でのオリエンテーションを行い、船の食堂を借りてゲームを取り入れながら、英語に触れる活動をしました。また、小樽市内では、英文のヒントを元にチェックポイントを回るイングリッシュウォークラリーを実施したり、バスの移動時間を活用し、レクリエーションとして英語活動を行うなど、常に英語に触れながら活動をしていました。子どもたちが答えに困っている様子があれば、同行する高校生会などがフォローするなど、積極的に参加できている様子でした。

問 三浜盆踊りが町内で行われなくなってしまったが、重要な文化の一つなので、保存や継承の考えは。

答 講座などを実施して伝えていかないと継承は難しいと考えます。どういった形で継承していけるか検討が必要です。

総務課

問 いばらき県央地域連携中枢都市圏とは。

答 圏域内で様々な連携事業を行っており、その一つの「人材育成分野」において研修事業が実施されています。９市町村全体で実施する「合同研修」のほか、各市町村が企画した研修に他市町村職員を呼び込んで実施する「相互参加研修」があり、連携して職員研修を行うことで、学びの機会の確保や効率化、市町村職員間の連携を図っています。

ズバリ！

町政を問う

５人の議員が登壇して発言



最近の自然災害から学ぶ事柄
大洗の地産地消を考える
平和行政

災害時人的受援計画の実効性と必要人員の事前把握について
災害時協力井戸制度の整備状況は
感震ブレーカーの設置・普及支援について





自然、複合型災害時の対応と2次避難所の必要性について
30年後の大洗町を見据えた町政運営について

子育て世代に選ばれる大洗町になるためには
行政DXの推進に向けた情報基盤の活用について





大洗海浜公園の利用促進

「町政を問う」紙面は、質問した議員が作成しています。

定例会開催の周知動画を作成し、質問者がそれぞれの意気込みを語っています。
詳しくは、大洗町議会公式YouTubeまで。





大洗町議会
公式YouTube

最近の自然災害から学ぶ事柄

菊地（きくち）　昇悦（しょうえつ）
議員



議会映像

はじめに 今年の夏、地震や豪雨など大きな自然災害が発生。町が教訓にすべきは何か提起したい。

問 10年前と変わらない避難所のあり方が指摘されていた。今夏を経験し、避難所となる体育館の空調をどう考えるのか。難を避ける所に空調設備がなければ２次災害も考えられる。心配することはないのか伺う。

教育次長兼学校教育課長

答 年々、猛暑日が増えてきている状況でもあります。子ども達に快適な環境を提供するためには、空調設備が整っているにこしたことはありません。今年度、一中武道場空調設備の実施設計を予算計上していますが、工事実施するにいたっては大きな予算が必要になります。厳しい財政状況の中で、町全体の優先順位の中で考えていかなければならないと考えています。

生活環境課長

答 今年の熊本地震のように、真夏に避難が必要となった場合には、空調設備がある場所に避難させる必要があります。実際に学校内を使用させていただいた時もありますが、今後についても、学校内や、役場などの公共施設なども使用し対応することになります。

問 原発事故時に、大洗町民は千葉県に避難することになっている。今回の東海第二原発の防潮堤工事延期についての原電の説明の中には、住民の避難先（安全確保）について触れていなかった。避難や安全確保について原電に説明責任をもつように町から要請すべきではないか。

町長

答 避難時の安全確保は、大前提であり、原電において何をなすべきなのかを整理することとなります。安心につながる周知体制はもちろん、屋内退避や広域避難先においての人的・財政的支援についても協議していければと考えております。

問 夕日の郷松川南側の埋め立てで、雨水の流れが変わり、一部地域の浸水が懸念されるが、住民の声を聞いて対応することを求める。

農林水産課長

答 現在、本地区を開発する場合における規制緩和の手続きをしております。今後、新たな土地利用を検討する中で、地元の方々が安心できる計画づくりを進めていきます。

平和行政

問 閣僚一部から、国是である非核三原則見直し発言がされている。町は核兵器廃絶宣言を発し、非核宣言自治体協議会に参加している。政府にしっかり三原則を守ることを言うべきではないのか伺う。

町長

答 非核三原則は、我が国の核兵器に対する基本的な方針であり、世界の恒久平和を願う国民の総意であると認識しております。本町としても、核兵器のない世界の実現と平和な社会の継続を強く願うものであります。一方で、自治体側としては十分な情報や専門的知見を持ち合わせていないため、現時点での対外的なメッセージ発信には慎重であるべきだと存じます。正確な情報がない状況下での発信は無責任との批判も受けかねません。今後、日本非核宣言自治体協議会を通じた適切な協議を踏まえ、自治体独自で取り組めることがあれば検討していくとともに、議会での意見書の提出されることがあれば、そのような動きにもしっかり対応していきたい。



町政を問う
9月2日

災害時人的受援計画の実効性と必要人員の事前把握について

柴田（しばた）　佑美子（ゆみこ）
議員



⬆議会映像

問　災害発生時、他の自治体から応援職員を受け入れる事になりますが、派遣元や人数が平時から確定しているわけではありません。どの業務に何人必要とするかを事前に整理し、速やかに応援を要請できる体制が重要と考える。町の受援計画について伺う。

生活環境課長

答　受援計画につきましては、令和６年に策定しました。応援職員の受入れにつきましては、災害の大きさや被害状況により、どの業務に何人必要かを要請することとなりますが、あらかじめ業務量に応じて何人必要かを検証したいと思います。

問　受援計画が実効性あるものにするためには、訓練が必要と考えるが。

生活環境課長

答　今後の防災訓練の中に、受援に関することや災害協定先との連携も含め、実施していきます。

災害時協力井戸制度の整備状況は

問　平成30年第４回議会定例会で「災害時協力井戸制度の構築」について質問した。住民への調査を行い協力者名簿の公表を検討するとの答弁だったが、協力者名簿の周知など進捗が見られない。その後７年が経過しているが、協力井戸制度構築について町の考えは。

生活環境課長

答　協力井戸制度につきましては、過去の資料を基に８月中旬から、担当が住民を訪問して内容を説明し、協力のお願いをしております。現在のところ、約20件弱の方にご協力いただける旨の回答を頂いております。

問　制度の内容についてどの様に構築するのか。

生活環境課長

答　制度の内容につきましては、ご協力いただく住民の方にはご迷惑が掛からないようにしたいと思います。周知については、ホームページに掲載し、募集についても行っていきます。



※災害時協力井戸：大規模な地震などで、水道が断水した際、地域住民にトイレや洗濯などの生活用水を無償で提供してもらうため、個人が所有する井戸を自治体に登録する制度及び井戸のこと。

その他の質問

「感震ブレーカーの設置・普及支援について」

30年後の大洗町を見据えた町政運営について

石山（いしやま）　淳（きよし）
議員



議会映像

はじめに　本町では、この30年の間に5000人が減りました。人口減少や少子高齢化が進み町を取り巻く環境も大きく変化をしている。30年後の大洗町を考えるためには、まずこの30年間で財政がどのように変化してきたのかを振り返ることが重要だと考える。

問　平成７年度と令和７年度を比較し財政状況はどう変化をしたのか歳入歳出、町税、財政指標等から伺う。

まちづくり推進課長

答　平成７年度と令和７年度を比較すると、歳入総額は約74億円から約124億円、歳出総額は約72億円から約118億円へと増加し、財政規模は拡大しています。一方、町税は約28億8千万円から約29億5千万円と、ほぼ横ばいで推移しています。財政力指数は0.72から0.65へ低下し、地方債残高は約49億4千万円から約90億5千万円へ増加、経常収支比率も84.6％から91.3％へ上昇しています。財政規模が拡大する一方、財政運営の自由度は低下している状況です。

問　30年後の大洗町を見据えた場合、財政運営の課題をどう認識するのか。

まちづくり推進課長

答　人口減少が進む中、町税などの大幅な増収が見込みにくい一方、必要な行政サービスや社会基盤の維持には、引き続き財源が必要となります。現在、経常収支比率が91.3％と高く、義務的経費が財政運営の自由度を制約しています。また、新消防庁舎などの必要な投資や、社会基盤、防災、福祉、子育て、地域公共交通への対応も必要です。限られた財源の中で事業の優先順位を明確にし、将来負担とのバランスを確保することが課題と認識しています。

問　水戸市議会代表質問等で議論されている県央市町村広域連携や政令指定都市構想をどのように考えているのか。

町長

答　持続可能なまちづくりに向け、広域連携や合併を含め、あらゆる可能性を否定すべきではないと考えています。かつてのように議論すらタブー視することほど、無責任なことはありません。一方で、合併ありきで進めるのではなく、住民の合意形成が極めて重要です。過去の合併の事例では、税負担や行政サービスに対する不安の声もありました。だからこそ、行政が十分に説明責任を果たすことが重要です。今後30年を見据えれば、厳しい財政運営は避けられません。まずは自立して歩んでいけるよう行財政改革を進め、住民の暮らしがより良くなる可能性について議論を重ねていきます。

町政を問う
9月3日

子育て世代に選ばれる大洗町になるためには

問 人口減少や人口流出をめぐり自治体間での競争が生まれている。大洗町はこの現状をどう捉えているのか。

こども課長

答 全国的な核家族化の進展に伴って「子育ての孤立化」など新たな問題も生まれる中で、こども課としましては、お子さんや保護者にとって最も身近な相談窓口としての役割がより高まっていると感じております。既存事業の効果を検証すると共に、近隣の市町村で行っている支援の内容や効果なども踏まえながら、より良い支援策の在り方について考察を重ねてまいります。

問 大洗町では子育て世帯に選ばれるためにどのような施策をとっているのか。

こども課長

答 時代の変化と共に子育て支援事業の在り方も様変わりしておりますが、中には育児相談や児童虐待への対応など、支援を必要とする側の心情に寄り添いながら相談に応じ、関係機関とも連携して丁寧かつ長期的に関係性を構築していくようなケースもあります。コンパクトな町として、切れ目のない支援を提供できることが本町のメリットであると考えますので、児童や保護者を長期的に支える環境の構築にも努めてまいります。

まちづくり推進課長

答 子育て世帯に大洗町を選んでいただくため、定住促進につながる住宅支援や、民間宅地開発への支援、移住相談や二拠点居住体験などに取り組んでいます。今後も事業の効果を検証し、それぞれの取組を効果的につなげながら、大洗を選び、住み続けたいと思っていただけるまちづくりを進めていきます。

行政DXの推進に向けた情報基盤の活用について

問 地域活性化企業人制度を利用し、DXのさらなる推進を図れないか。

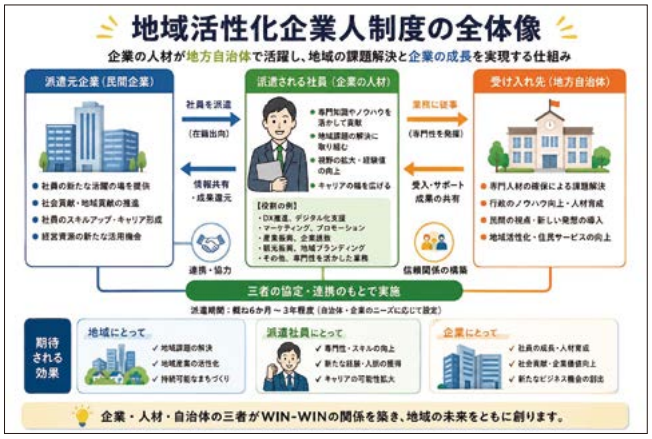
関根（せきね） 健輔（けんすけ）
議員



⬆議会映像

副町長

答 地域活性化企業人制度の活用なども視野にいれ、本町の規模や実態に合った現実的かつ効果的なDXの推進に、一歩一歩取り組んでまいります。



問 画像生成に長けている生成AIの導入は出来ないか。

総務課長

答 生成AIにつきましては、文書の作成や要約、アイデアの創出など、多岐にわたる行政事務において圧倒的な作業時間短縮の可能性を秘めた革新的な技術であると認識しております。定型的な事務負担を大きく軽減し、職員が真に注力すべき住民サービスの向上や企画立案などのコア業務にシフトするための強力なツールとなり得るものと考えております。
現在使用しているツールにつきましては、議員ご指摘の画像生成の部分では対応しておりませんが、今後の生成AIシステムの本格導入に向けまして、これまでの検証を踏まえ、システムの整合性などいくつかの条件がございますが、より実用的で効果的な生成AIの本格導入に向け、しっかりと検討を進めてまいります。

大洗海浜公園の利用促進

今村（いまむら）　和章（かずあき）
議員



⬆議会映像

はじめに　大洗海浜公園は県から管理委託により長きにわたり都市建設課が所管してきた。トイレの利用について課題があり引き続き県への要望をお願いしたい。



海浜公園の図

問　町ホームページを見ると「遊ぶ・散歩する・休憩する」といった用途の場合、誰でも自由にできることになっている。また、イベント等を行う場合は、町への届出が必要であり対象となる施設を有料で利用できるようになっていると思うが、現在の利用状況は。

商工観光課長

答　今年度の海浜公園内の貸出し実績は、現在までに４件であり、主な内容は音楽フェスイベントの開催となっています。

問　花火大会、ナイトパーク、そして先日、開催された波音祭など、サンビーチ側を会場にイベントを開催している。その際には多くのキッチンカーが出店しており、海浜公園側でも賑わいづくりになると思うが。



イベントに出店しているキッチンカー

商工観光課長

答　大洗海上花火大会会場内において、70台のキッチンカー出店を予定しているところです。今後は、海浜公園の積極的な利活用を図るため、イベント招致に向けた取組みを強化してまいりたいと思います。

〈要　望〉
キッチンカーの常設ブースの設置をお願いしたい。

問　これまで十分に活用されてこなかったと考えるが、今後の利用促進や新たな活用について、県との協議は進められているのか。

まちづくり推進課長

答　町としても、民間の資金やノウハウを活用した新たな活用が重要と認識しています。これまで、「みなと緑地PPP」について、県と意見交換を行っています。

問　誰もが利用できる公園ではあるが、目的地として人を呼び込める施設を整備することによってさらに利用促進に繋がると思うが。
例えば、スケートボードパークなど。



スケートボードパーク（藤沢市）

まちづくり推進課長

答　訪れる目的となる施設の整備は、利用促進の一つの手法と認識しています。藤沢市の鵠沼海浜公園など、民間の資金やノウハウを活用した事例もあります。本町でも民間事業者と意見交換を行ってきましたが、物価や建設資材価格の高騰により、民間投資が難しい状況となっています。

つくばみらい市議会総務常任委員会6名が訪れました

訪問日：令和８年７月22日（水）
人　口：53,834人（令和８年９月１日）
面　積：79.16㎢
目　的：防災DXに関する取り組みについて
対応者：飯田議長





埼玉県入間郡町村議会議長会6名が訪れました

訪問日：令和８年７月23日（木）
構　成：三芳町、毛呂山町、越生町
目　的：ふるさと納税の取り組みについて
対応者：飯田議長





群馬県中之条町議会文教民生常任委員会5名が訪れました

訪問日：令和８年10月14日（水）
人　口：13,881人（令和８年９月１日）
面　積：439.28㎢
目　的：充実した子育て支援施策の取り組みについて
対応者：石山副議長





議会日誌

7月
13日　令和8年度大洗港振興協会理事会・通常総会
15日　大洗町海水浴場安全祈願祭
17日　令和8年度第1回都市計画審議会
21日　新消防庁舎安全祈願祭
東海第二発電所安全性向上対策工事に関する視察
22日　例月出納検査
つくばみらい市議会視察受入
はまぐり保護区域に係る勉強会
23日　埼玉県入間郡町村議会議長会視察受入
29日　鉾田・大洗広域事務組合例月出納検査
31日　第5回大洗町立学校のあり方検討委員会

8月
4日　第69回キュリー祭式典
5日　令和8年第2回茨城県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
18日　議会運営委員会
21日　鉾田・大洗広域事務組合例月出納検査
24日　例月出納検査
令和8年第2回定例会（町村長・議長合同会議）

9月
1日～10日　第3回議会定例会
2日～7日　総務常任委員会審査
8日　市場運営委員会
10日　議会運営委員会
12日　第25回日里基地音楽祭
18日　例月出納検査
27日　第21回那須九尾まつり
28日　鉾田・大洗広域事務組合例月出納検査
30日　第1回議会臨時会
議会全員協議会
秋の全国交通安全運動キャンペーン

10月
1日～2日　県北中央町村議会議長会正副議長研修会
2日　議会広報編集委員会
4日　第6回茨城町環境フェスティバル
14日　群馬県中之条町議会視察受入
17日　町民と議会の懇談会
19日　令和8年第2回大洗、鉾田、水戸環境組合議会定例会
25日　大洗磯前神社例大祭
26日　議会全員協議会
28日　令和8年第2回茨城県後期高齢者医療広域連合議会定例会

町民と議会の懇談会を開催しています！

お気軽に
懇談しましょう



© 大洗町

みなさまのご意見を
お聴かせください

町民の皆さまに議会の活動を知っていただくとともに、町政に対するご意見などをお聞きするため、町民と議会の懇談会を開催しています。

10月には、「インフラ整備」「住環境」「公共交通」をテーマとして開催しました。

次回の懇談会は、行政運営や議会運営、教育、子育て支援等をテーマに、11月に開催します。日頃気になる町のことを、議員と気軽に懇談しましょう。

多くの方のご参加をお待ちしています。

【開催経過】

日　時		場　所	懇談テーマ	担当議員
1回	10月17日（土） 午前10時～12時	漁村センター 研修室	○インフラ整備 ○住環境 ○公共交通	【2班】 石山、小野瀬、伊藤、 小沼、勝村、菊地
2回	11月28日（土） 午前10時～12時	中央公民館 視聴覚室	○医療福祉 ○子育て・学校教育 ○議会運営	【1班】 飯田、関根、櫻井、 柴田、今村、坂本

熊本地震の被災者支援として義援金を寄付しました

大洗町議会は、議員12名が令和8年7月28日に発生しました熊本地震により被災された方々を支援するため、熊本県に義援金12万円を寄付しました。

議員一同、被災地の早期の復旧、復興を心より願っております。

大洗町議会の議場を自習室として多くの方に利用していただきました

実施期間

7月21日
～8月31日
（夏休み期間中）
延べ107人

利用した生徒たちの声



令和８年 第４回議会定例会のお知らせ

令和８年12月15日(火)開会を予定しております。

◆会期日程・審議内容等、詳細につきましては、週報、ホームページ等にて改めてご案内いたします。

議会映像配信について

ライブ配信(生中継)　録画配信



本会議及び常任委員会（予算・決算審議）の模様を「YouTube」にて配信を行っています。
また、令和２年５月以降の録画映像をいつでもご覧いただけます。
「YouTube」にアクセスし、大洗町議会を検索してください。
スマートフォンからでも視聴できますので、ぜひ、ご利用ください。
なお、大洗町議会ホームページでも同様にご覧いただけます。

大洗町議会
ホームページ

大洗町公式LINEのご案内

大洗町の各種情報がタイムリーに配信されます。
議会定例会の開催についてもお知らせしますので、「友だち」登録をしてみてください。

大洗町
公式LINE

おおあらいまちクイズ

問題　**11月14日(土)・15日(日)に大洗マリンタワー前芝生広場で開催されるイベント「商工感謝祭&大洗〇〇〇〇祭り」は、次のどれでしょうか。**

①はっさく
②こしあん
③あんこう



応募方法

1　はがき又はＥメール
2　答えと住所、氏名、年齢、電話番号、本紙へのご意見やご感想等ありましたら、あわせてお寄せください。

答え／●番
住所／
　大洗町1234-5
氏名／大洗　太郎
年齢／20歳
電話番号／
　012-345-6789
ご意見・ご感想／
　□□□□□□□
　□□□□□□□

宛先

- **はがきの場合**
  〒311-1392　大洗町磯浜町6881-275
  大洗町議会　議会だより広報委員会
- **Ｅメールの場合**
  件名を「おおあらいまちクイズ　220号」にしてgikai@town.oarai.lg.jpまで送信してください。

☆締め切り

11月30日（当日消印まで有効）
正解者の中から抽選で10人の方に1,000円分の図書カードを差し上げます。なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

No.219の答え

①インスタグラム

お詫び

前号（219号）Ｐ８ 説明者「国立研究開発法人　日本原子力研究開発機構　大洗原子力工学研究所」と記載するところを「国立研究開発法人　日本原子力研究開発機構　大洗研究所」と記載されておりました。
謹んでお詫び申し上げます。

編 集 後 記

９月定例会では、前年度の決算審査が行われました。
決算は、町が一年間どのような事業を行い、皆さまからお預かりした大切な財源がどのように使われたのかを振り返る大切な機会です。
その成果や課題を検証し、これからの大洗町のより良い町づくりへつなげていくことも、議会の重要な役割です。
本号を通じて、町政や議会をより身近に感じていただければ幸いです。　関根　健輔

議会広報編集委員会
委 員 長　関根　健輔
副委員長　小野瀬とき子
委　　員　今村　和章
委　　員　伊藤　　豊

大洗町議会ホームページ

議会の会期日程等のお知らせや議会活動のほか、議会のしくみなどについて掲載していますので、ぜひご覧ください。

大洗町議会　検索

大洗議会だよりはユニバーサルフォントを使用しております。

〒311-1392　茨城県東茨城郡大洗町磯浜町6881-275　TEL(029)267-5111　編集／議会広報編集委員会